

秋季支部予選会について

1. 以下についてアンケート調査を行い、40校から回答をいただいた。（回答は別紙）
 - (1) 現状の4支部での予選会を継続する。
 - (2) 東北信、中南信の2ブロックに統合してブロック予選会を実施する。
 - (3) 選手権と同様に全県一区で実施する。
 - (4) 加盟校数に準じ、県大会出場校数を比例配分し、4支部での予選会を実施する。
 - (5) 支部の境界線を変更し、加盟校数の均等化を図り、4支部での予選会を実施する。

2. 提案 以下について、改めて意見集約を行うこととします。
 - ・(2)の2ブロック案を方針とする。（柔道方式の敗者戦の実施を含む）
 - ・予備戦は実施する。
（予備戦は現行通り4支部で実施し、各支部4校をシード校とする。）
 - ・秋季県大会出場校数は24校とする。

- 理由
- ① 現行方式の維持または改革について
 - ア) (1)の現行制度に対して、賛否両論ではあるが、公平感を欠く等の意見も寄せられており、改革を行う必要性があると考えます。
 - イ) 現状を維持しても、将来的には不均衡の増大が懸念され、対策を考える時期に来ている。
 - ② 改革案(2)～(5)について
 - ア) (3)の全県一区に対しては反対意見も多く、候補から除外とした。
 - イ) (5)の境界線の変更に対しても反対意見が多く、候補から除外とした。
 - ウ) (2)と(4)に対しては賛否両論ではあるが、(4)の加盟校数による比例配分は県大会出場割合が均衡となるように見えるが、根本となる加盟校数の不均衡からの縛りとなるため、根本的な解決策とは言いにくいことから(4)も方向性として適さないと考え、(2)の2ブロック案を改革案とする。
 - ③ 予備戦について
2ブロック案では、柔道方式の敗者戦となるため現行より敗者戦への出場校数は増えるが、県大会出場権獲得前の敗退校全てに敗者戦の機会が与えられていないため、予備戦を実施する。
 - ④ 秋季県大会出場校数24校について
下記のように4校出場の形式に戻しても、特に北信、東信の差は大きく、対校数割で見ると、加盟校数の不均衡の是正とは逆行する。また、上位大会への出場校が多い方が、次の大会まで目標を明確に持ったチームが増え競技力向上へ繋がると思われる。
 - ・平成25年度加盟校数
北信：28校 東信：18校 南信：25校 中信：21校
 - ・県大会支部出場校6校に対しての県大会出場割合
北信：21%（5校に1校） 東信：33%（3校に1校）
南信：24%（4校に1校） 中信：29%（3.5校に1校）
 - ・県大会支部出場校4校に対しての県大会出場割合
北信：14%（7校に1校） 東信：22%（4.5校に1校）
南信：16%（6.3校に1校） 中信：19%（5.3校に1校）

3. 今後の予定

- ①H25年度 第5回理事会：方向性の決定、HPにアップ（意見集約～3月20日〆切）
- ②H26年度 第1回理事会、第1回評議員会：方向性の提起、質疑
- ③ 第1回加盟校連絡会：方向性の提起、質疑、意見集約（～5月23日支部〆切）
- ④ 第3回理事会：方針の決定
- ⑤ 第4回理事会、第2回評議員会：方針の承認
- ⑥ 第4回加盟校連絡会：方針の連絡